

## 合同開催

# 第 20 回日本先進糖尿病治療研究会・第 18 回 1 型糖尿病研究会 ご挨拶

第 20 回日本先進糖尿病治療研究会と第 18 回 1 型糖尿病研究会の合同研究会は、2020 年 11 月 21 日、22 日に福岡県久留米市において開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため 1 年延期となりました。新たに、開催場所を久留米市から長崎市に変更し、2021 年 11 月 6 日（土）7（日）に、WEB 発信とのハイブリッド形式にて開催する予定で準備を進めております。

合同研究会のテーマは、“インスリン 100 年、つなげよう未来へ！”と致しました。インスリンの発見は 1 型糖尿病の予後を劇的に改善しただけでなく、今日に至るまで糖尿病治療の進歩に大きなインパクトを与えてきました。この記念すべき年に、過去の業績に学びつつ、未来に向けて先進的テクノロジーや最新の研究について議論し、先進治療を待ち望む糖尿病患者さんにとってだけでなく、治療や研究に携わる医療関係者にとっても、よりよい未来につなげたいという思いを込めたテーマです。

会場となる出島メッセ長崎は、研究会直前の 2021 年 11 月 1 日に長崎駅西口に直結して新規開業する MICE 施設で、長崎港（鶴の港）の中心に位置しています。鎖国時代から世界に向けて発信し続け、医学発祥の地として一時代を形作った長崎の歴史を堪能し、交流をはぐくむ拠点として開設されるものです。近隣には宿泊施設も充実しており、観光地や繁華街もほど近く、長崎の観光、食文化を存分に楽しんでいただけたらと思います。

さて、日本先進糖尿病治療研究会は 2001 年にインスリンポンプ治療研究会として設立され、その後インスリンポンプだけでなく、持続血糖測定器や新しい作用機序の糖尿病治療薬など、糖尿病の最新医療全般を推進する研究会として活動してきました。一方、2003 年に発足した 1 型糖尿病研究会は、1 型糖尿病の基礎・臨床研究を通して、疫学、遺伝、自己免疫の病態解析や発症予防法の開発に取り組んできました。両研究会は、2018 年以降合同開催となり、それぞれの特色と強みを相互に取り入れることで、より質の高い研究会へと発展しつつあります。

今回の合同研究会では、トピックとしてインスリン 100 年にふさわしい特別講演を企画しています。また、1 日目に若手研究者のための YIA セッションを設け、夕の懇親会では表彰を行うとともに、未来につながる交流の場を提供したいと考えています。さらに、日々の診療に役立つ最新の知識と技術を多職種で共有できるような合同シンポジウム、教育講演会、ハンズオンセミナーなどを準備しています。感染状況にもよりますが、いずれも WEB 配信を併用する予定です。市民公開講座は全面的に WEB 開催とし、“糖尿病を知ろう”をテーマに、市民や患者さんに向けた情報交換の場を提供いたします。

1 年遅れの開催となりましたが、それだけに 2 年分の進歩を取り入れた充実した研究会にすべく、鋭意準備を進めているところでございます。感染対策を十分に行ったうえで、九州の地で大いに語り合ひましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2021 年 3 月吉日

第 20 回日本先進糖尿病治療研究会

当番世話人 中山 ひとみ

(久留米大学医学部内科学講座 内分泌代謝内科部門

／筑後市立病院 内分泌・代謝内科)

第 18 回 1 型糖尿病研究会

会長 阿比留 教生

(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

先進予防医学共同専攻 内分泌・代謝内科学分野)